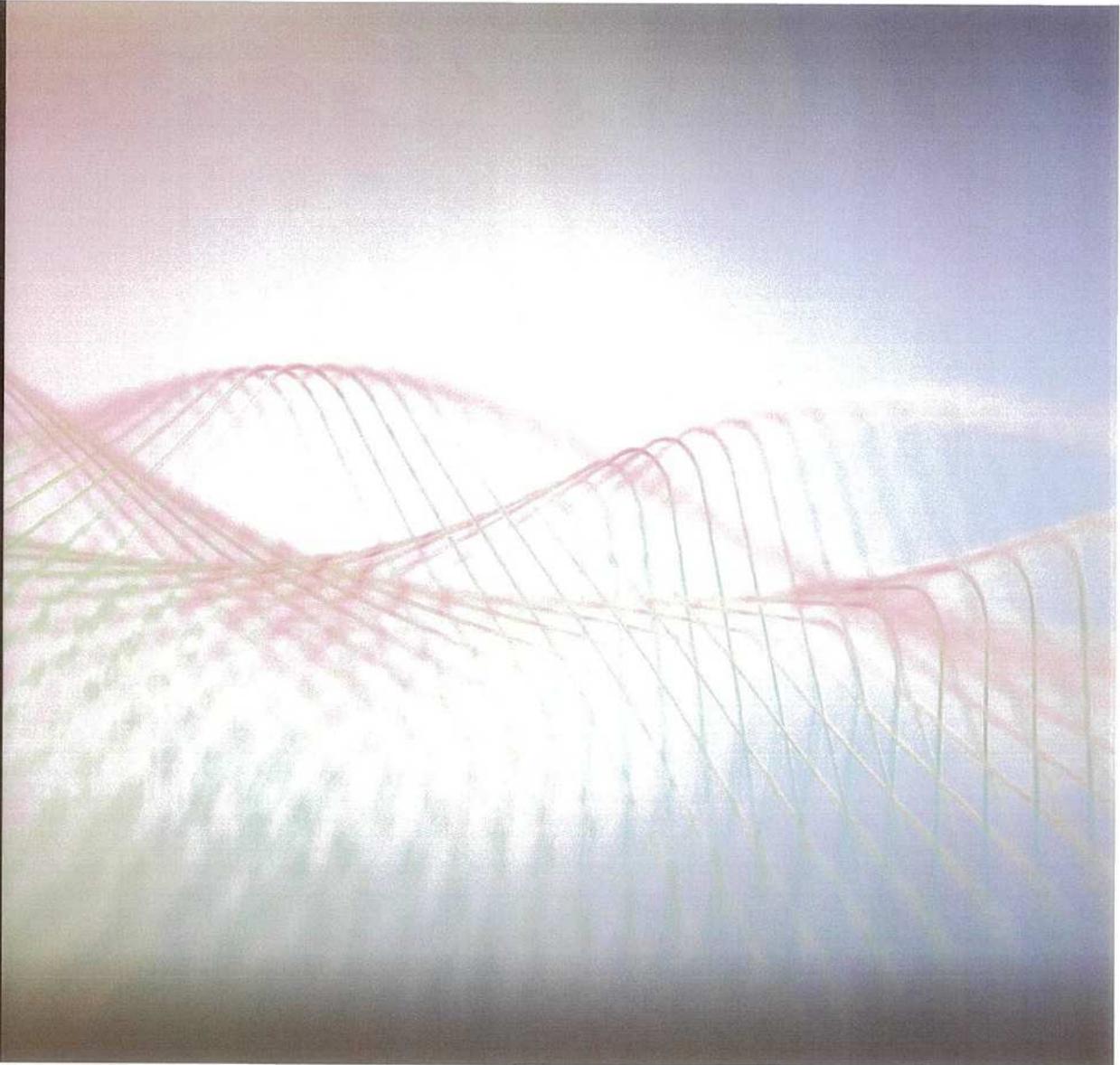


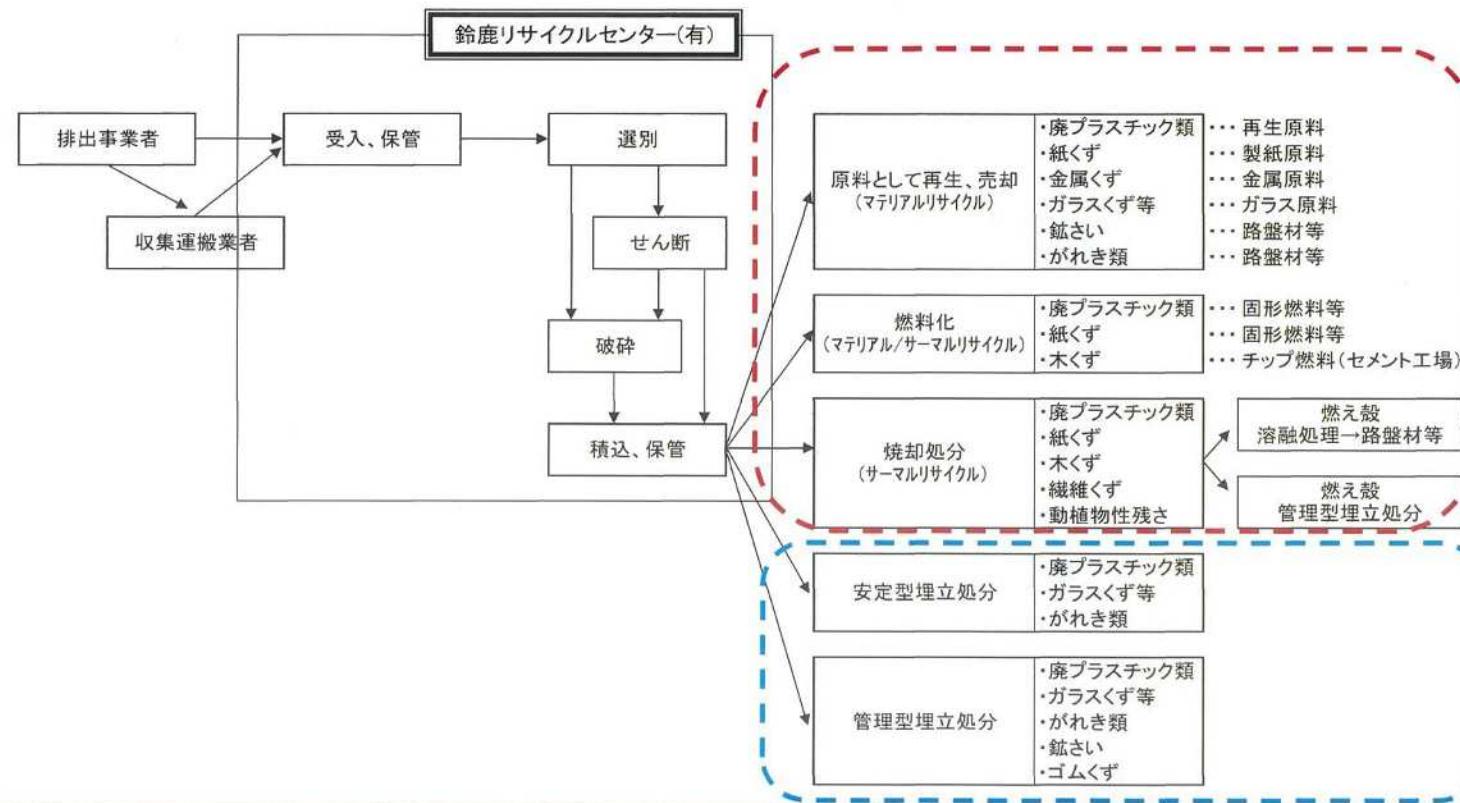
事業計画概要

鈴鹿リサイクルセンター有限会社



現状（既存）の業務フロー

処理品目：廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等（石綿含有産業廃棄物を除く。）、鉱さい、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）以上10種類



課題①
主に二次先に委託しリサイクル製品化しているため、安価な燃料が作れない

課題②
手選別のため、埋立処分の比率が高い

- ・安価な燃料が作れない

脱化石燃料・カーボンニュートラルへの取り組みが実施されている社会で、廃棄物由来の燃料を安く提供できることは環境にも有益です。

- ・埋立比率が高い

限りある埋立処分場の容積を圧迫しないことが、環境にやさしい社会を目指す日本国民・事業者全体の課題です。

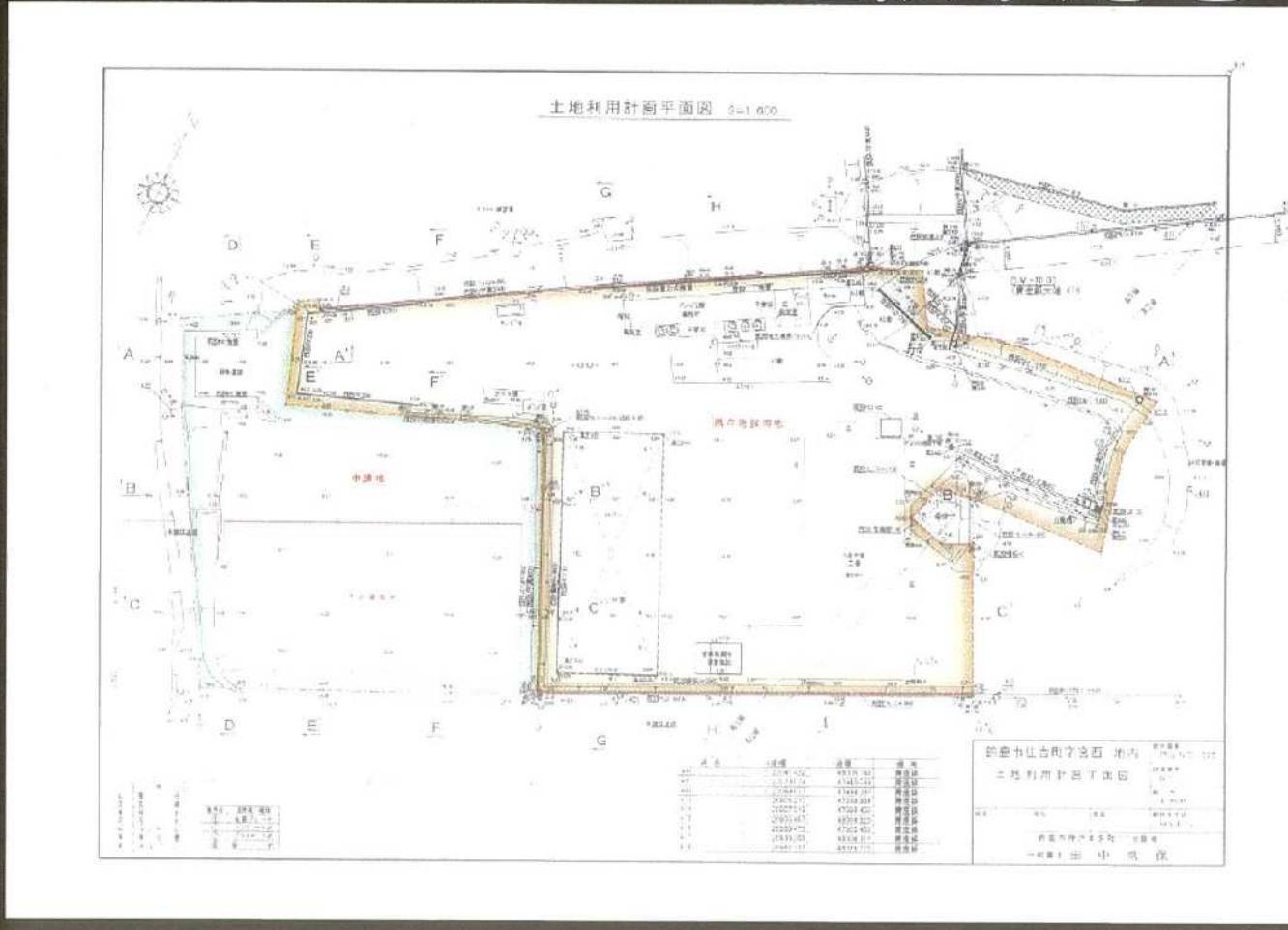
環境にやさしい社会を次世代に残すべく、新リサイクルプラントの建設を計画します。

新リサイクルプラント建設

産業廃棄物の処理施設の設置等の目的	選別過程におけるプラスチック等をリサイクル(サーマル・マテリアル)するために回収とともに、処理残さの発生量を減少するため、工場敷地を拡大してリサイクルプラントを増設する。
産業廃棄物の処理施設の設置等の場所	三重県鈴鹿市住吉町字宮西 8423-1、8442、8443、8444、8445、8446、8447
産業廃棄物の処理施設の種類	破碎施設、圧縮施設、破碎・圧縮施設、 破碎・選別施設、破碎・選別・圧縮施設
産業廃棄物の処理施設において処理する 産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を除く。）、紙 くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず等（石 綿含有産業廃棄物を除く。）、がれき類（石綿含有産業 廃棄物を除く。） (上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を除く。) 以上 7 種類

事業計画 p 1 県提出の8号様式から抜粋

新リサイクルプラント建設予定地

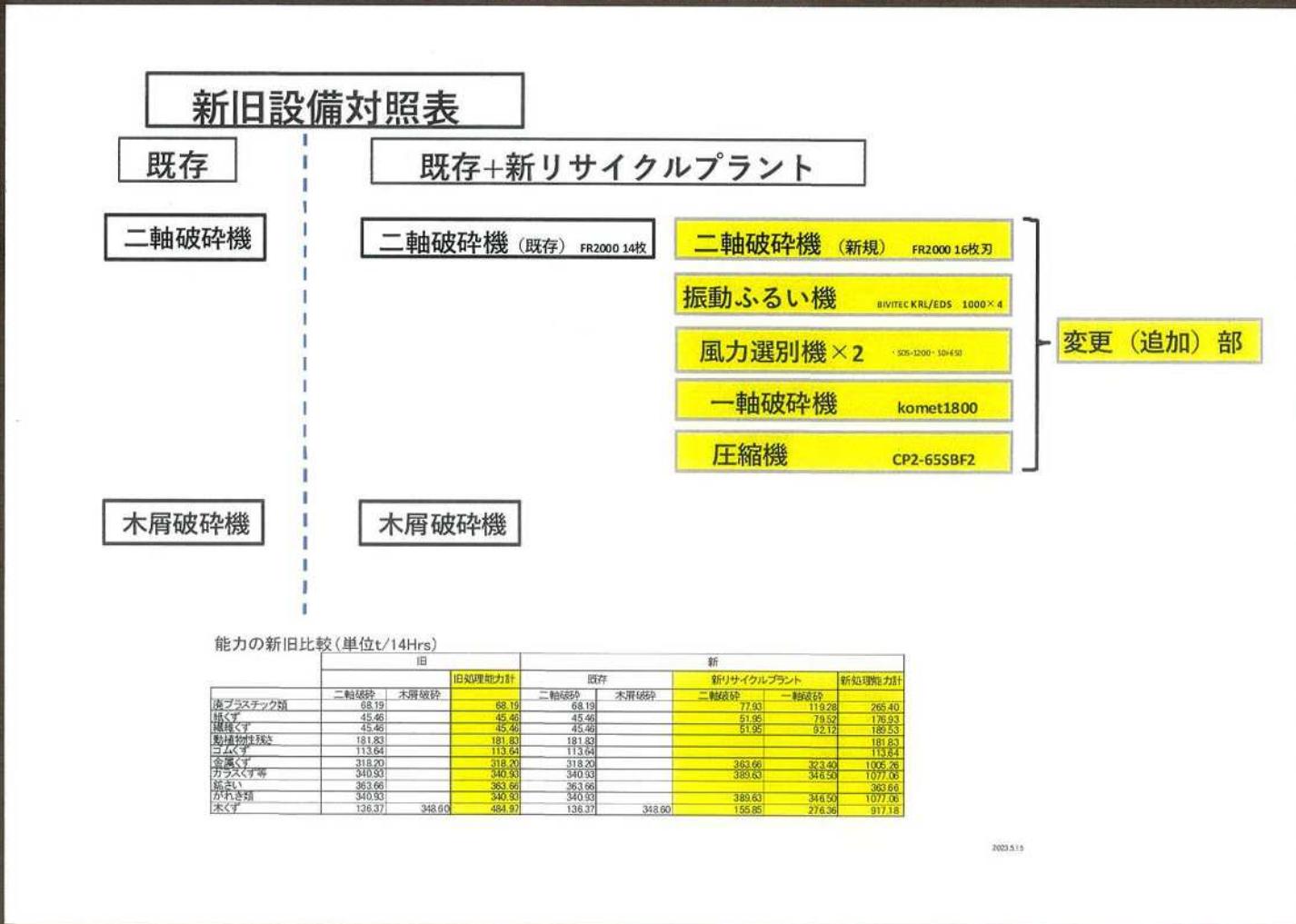


新リサイクルプラント産業廃棄物取扱いの種類

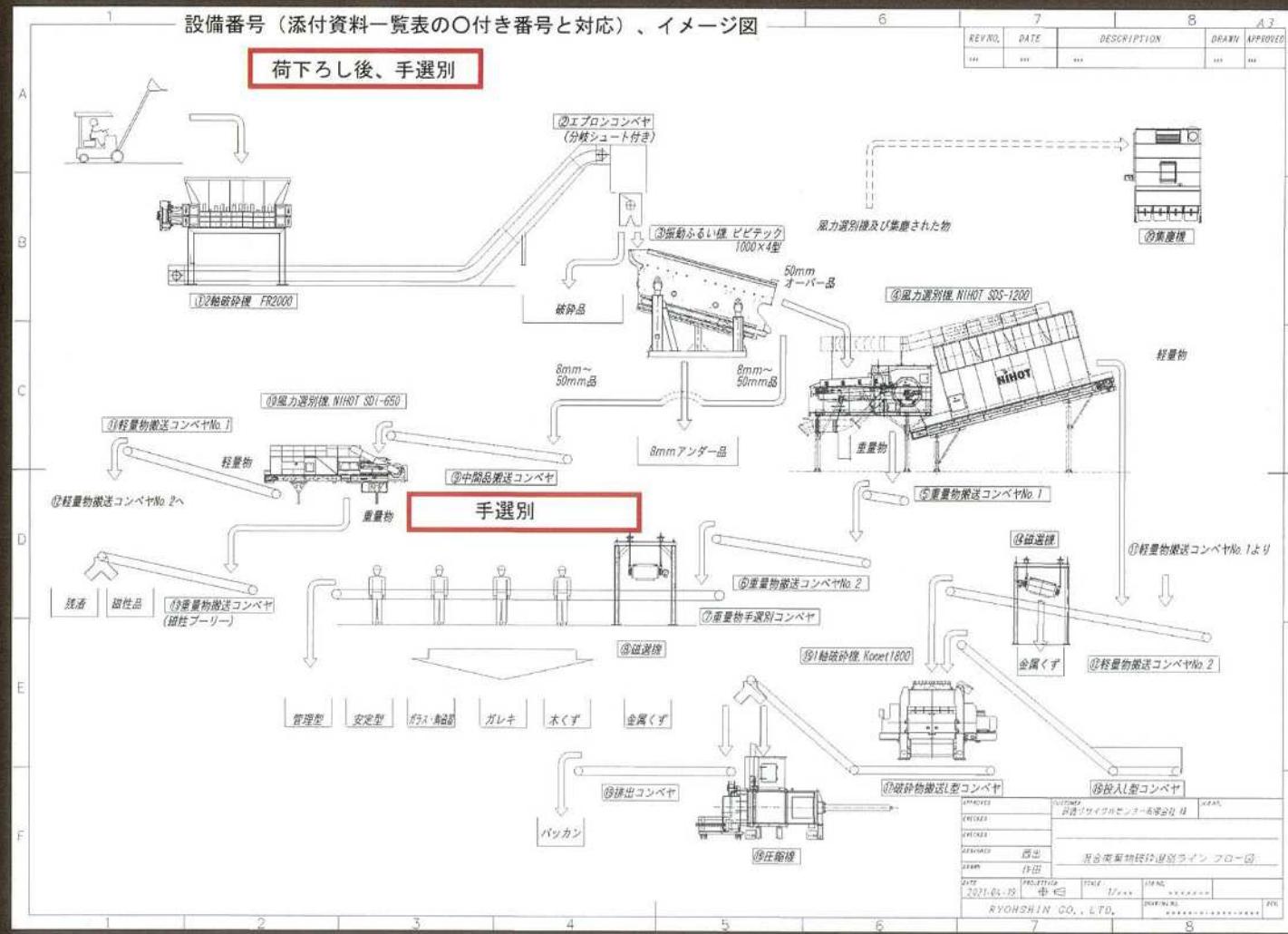
廃棄物種別 の種類	廃棄業者 の本拠地	【リサイクルプラント】	
		有害物 質含有 率の基準	無害物質
塑性ゴミ等 （土壌汚染性廃棄物 等を除く）	塑性ゴミ等、廻作物ビニールバイン、梱包用ビニールシート等	3.5%以下/月	有・⑩
紙くず	建設工事により発生した ダンボール等	2.1.5%以下/月	有・⑩
木くず	木パレット、建設工事に より発生した伐採木等	下限なし/月	有・⑩
繊維くず	建設工事により発生した 発毛糸等	5.4%以下/月	有・⑩
金属くず （土壌汚染性廃棄物 等を除く）	小山、建設工事により 発生した鉄骨等	1.1%以下/月	有・⑩
ガラスくず等 （土壌汚染性廃棄物 等を除く）	磨ガラス、廻塑料くず等	1.1.0%以下/月	有・⑩
工作物等 （土壌汚染性廃棄物 等を除く）	工作物の新築、改築又 は除去に伴うアクリル等 のシート、スチロール等 の樹脂等	1.1.0%以下/月	有・⑩

注) 有害物質を含有する廃棄物は、その特性和成分等を明示的かつ書類を提出すること。

新リサイクルプラント既存との比較イメージ



新プラントイメージ図



工場イメージ写真



事業系廃棄物の処理を目的とした新工場が完成。
少人数での稼働&大容量処理を実現。

破碎・選別
ライン

収集運搬された廃棄物は、まず二軸破砕機 FR にて粗破碎の後、**振動スクリーン BIVITEC** (ビビテック) にかけられ①50mm オーバー品、②8-50mm 品、③8mm の 3 種類のサイズに選別されます。FR は、様々な材料に対応可能な異物に強い機構の破砕機で、さらに革新的な技術によりメンテナンス費用の低コスト化を実現しています。



そのうち①50mm オーバー品は**風力選別装置 SDS1000** に、②8-50mm 品は**風力選別装置 SDI650** に投入され、どちらも、風力選別により金属類などの重量物とプラスチック類などの軽量物に分けられます。次工程に進みます。

NIHOT 社製の SDS と SDI は、吸引ファンにより空気を循環させながら負圧で軽量物を風へと運び、重量物を回転ドラムの手前で落とす風力選別装置です。ダストを外部に出さない独自機構により、ダストフリーかつ高精度・高処理な選別を行います。



軽量物は手選別を経て**一軸破砕機 KOMET** により細破碎され、最終的にはペール状に圧縮処理を行い、燃料やリサイクル原材料としてマテリアルリサイクルされます。KOMET は、材料を 10-50mm の細粒度に破碎可能な機種で、なおかつ高い処理能力を誇る破碎機です。さらに破碎機上部に集塵機を設置することで、ダスト飛散を最小限に抑えています。

重量物は手選別ラインに進み、金属くず、木くず、管理型、安定型などの各品目に分けられます。



人員不足に対応した効率的なラインに

製品イメージ及び保管形態



【フラフ燃料とは】

廃プラスチック類を主原料とした、細かく碎かれた状態の燃料で、RPF のように
製造過程で熱を加えないため、環境負荷がより低い燃料。

圧縮の上、フィルムで
六面梱包した製品とな
ります。（保管荷姿）



建設に伴う生活環境影響調査（実地）

3. 生活環境影響調査（騒音・振動）

(1) 目的

新たな設備を設置し、稼働することによる周辺環境への影響度合いを評価することを目的とする。

具体的には、現況の騒音・振動測定を行い、新設の破碎機の騒音・振動計測結果より設備設置後の騒音・振動予測を行い基準値に適合するかを確認する。

(2) 予測方法

「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針について」に基づき、予測を行うものとする。

(3) 設備設置場所及び騒音調査地点

別紙1 参照

4. 基準値

- ・騒音 55 dB
- ・振動 60 dB

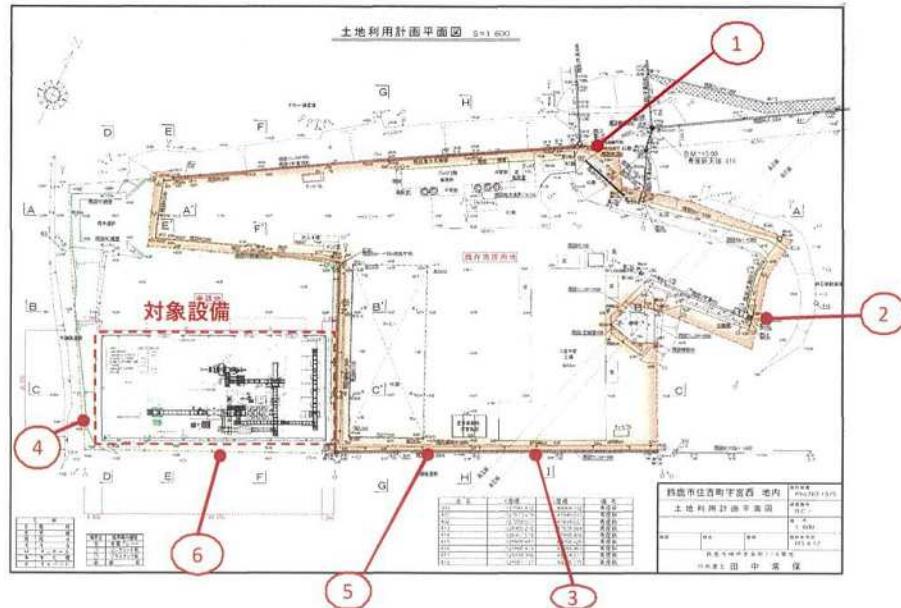
5. 予測結果（詳細は別紙2に記載）

- ・騒音 基準値を満たす結果である。
- ・振動 基準値を満たす結果である。

以上

建設に伴う生活環境影響調査（実地 続き）

別紙1 選定場所



<騒音> 別紙2 予測結果および施設騒音による生活環境保全上の目標との整合性

測定の区分	予測地点	騒音騒音レベル (騒音レベル L _A)	測定機器の 騒音レベル 予測結果	事業実施後 の騒音レベル 予測結果		適合
				単位：デシベル	単位：デシベル	
①	47	37	47	○	○	
②	42	35	43	○	○	
③	51	49	51	○	○	
④	50	53	55	○	○	
⑤	51	43	52	○	○	
⑥	51	50	54	○	○	

基準値55dB
○コメント
本施設の騒音に伴う騒音レベルの較地理界における予測結果は、表1の示すとおりである。日標準を規制基準値の55dBとした場合、すべての地点で基準値を満足する結果となったため、環境保全上の目標は達成できるものと考えられる。

<振動> 別紙2 軟地境界線上における振動の予測結果

測定の区分	予測地点	現文振動レベル 振動レベル L _D	測定機器の 振動レベル 予測結果	事業実施後 の振動レベル 予測結果		適合
				単位：デシベル	単位：デシベル	
①	31	42	41	○	○	
②	30未満	31	38	○	○	
③	34	45	49	○	○	
④	30	56	56	○	○	
⑤	30未満	49	49	○	○	
⑥	28	54	54	○	○	

基準値60dB
○コメント
本施設の騒音に伴う振動レベルの較地理界における予測結果は、表2の示すとおりである。日標準を規制基準値の60dBとした場合、すべての地点で基準値を満足する結果となったため、環境保全上の目標は達成できるものと考えられる。

公告・スケジュール等連絡事項

3. 事業計画書の写しの縦覧の場所及び時間

縦覧の場所	本社受付窓口
縦覧開始予定日	令和5年5月19日
縦覧時間	8時00分～17時00分（土曜日、日曜日、祝日除く）

4. 説明会の開催

日 時	令和5年6月3日（土）10時00分
場 所	本社 2F会議室 鈴鹿市住吉町8440番地

5. 意見書の提出期限、提出先

提出期限	令和5年7月3日(月)
提出先	〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町8440番地 鈴鹿リサイクルセンター有限会社 TEL 059-370-6789
提出方法	持参または郵送 ※提出期限必着 (持参の場合 土曜日、日曜日、祝日を除く)
様式	規定なし

6. その他手続き等

見解書の縦覧	意見書の提出があったときは、意見書に対する弊社の見解を記載した書面（以下「見解書」という。）を作成し、縦覧に供します。
再意見書の提出	見解書を縦覧した場合、関係住民等は見解書について生活環境の保全上の見地からの意見を記載した書面（以下「再意見書」という。）を弊社に提出することができます。
再見解書の縦覧	再意見書の提出があったときは、再意見に対する弊社見解を記載した書面（以下「再見解書」という。）を作成し、縦覧に供します。
備 考	見解書及び再見解書の縦覧の場所、期間及び時間並びに再意見書の提出期限及び提出先等については、弊社のホームページ（ https://www.fujiko.ne.jp/src.html ）に掲載します。

公告書からの必要事項抜粋